

非がん性病態の複合によるがん病態変容や生命予後に関するコホート研究と患者試料を活用したがん病態機構の解析

1. 研究の対象

国立がん研究センターで2016年から2022年までに国立がん研究センター中央病院で治療を受けた患者さんのうち、包括的同意が得られ既に死亡退院している方を対象としたコホート研究です。

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、難治性の痛みや糖尿病などの基礎代謝疾患といった非がん性病態が、がん患者さんのがん病態や生命予後にどのような影響を与えるかについて、臨床的および基礎科学的研究で明らかにすることです。本研究での手法は、カルテ情報から診療情報を抽出し、がん病態と生命予後に影響すると考えられる疼痛や基礎代謝疾患などの要因をコホート研究として解析します。その後、それらの情報を基に、国立がん研究センターのバイオバンク試料を用いて、非がん性病態を複合するがん患者さんの免疫状態などを基礎科学的に解析し、生命予後やがん病態の変化に対する関連性を明らかにしていきます。本研究は、国立がん研究センターで診断、検査、治療を受けた患者さんの診療情報およびバイオバンクへ登録された検体を医学研究に活用するため、臨床情報から個人が容易に特定できないような匿名性を厳格化し、かつ個人の特定を禁ずるなどの適切な方法でプライバシーを守ることがを遵守します。

研究実施期間: 研究許可日から2026年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料: 手術や生検などで採取しバイオバンク保存されている組織、血液等
情報: 性別・年齢・病名・投薬歴等の診療情報

4. 試料・情報の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や雑誌等で本研究に関わるしかるべき研究者により公表します。

5. 外部への試料と情報の提供

本研究は、他機関への試料・情報の提供は行いません。また、本研究では外部機関にデータの解析を委託することも予定していませんが、委託業務が

発生する場合には研究計画書を修正し、国立がん研究センター倫理審査委員会に届け出を行い、許可を得て実施します。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先
(研究責任者)

南雲 康行

国立がん研究センター研究所 先端バイオイメージング研究分野

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511 (代表)

里見 絵理子

国立がん研究センター中央病院 緩和医療科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511 (代表)